競技注意事項

１　この大会は、２０１４年度日本陸上競技連盟競技規則及び大会規定を適用する。
２　招集について
ア　選手招集所は、第二ゲートに設ける。（雨天時は第一ゲートに変更することがある。）

	トラック競技	フィールド競技
開始時刻	３０分前	４０分前
完了時刻	２０分前	３０分前

イ　招集は、完了時刻１０分前に競技者係が点呼を開始しチェックをする。このとき点呼に応じない者は、棄権とみなされる。
ウ　代理人による招集は認められない。但し多種目を同時に兼ねて出場する者は、あらかじめ競技者係に多種目同時出場届を提出し事前の点検をうけておくこと。
エ　腰ナンバーカードは、各学校で用意をすること。なお男子１５００ｍ、５０００ｍ、３０００ｍＳＣ、５０００ｍ競歩、女子１５００ｍ、３０００ｍ、５０００ｍ競歩は、招集時、競技者係から配られる。
オ　混成競技において、第１日目第一種目、第２日目第一種目と最終種目は招集所で点呼を受ける。ただし他の種目は現地集合とする。
３　トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の上から下へとする。
４　リレー予選のオーダー用紙は、招集完了時刻の１時間前までに記録室番組編成員へ提出すること。決勝のオーダー用紙も変更の有無にかかわらず招集完了時刻の１時間前までに記録室へ記入に来ること。
（オーダー用紙は、学校受付時に配付する）
５　５０００ｍ、３０００ｍＳＣ、５０００mW、女子３０００ｍ、５０００mW、で先頭に一周抜かれた場合はレースを中止させることがある。
６　スタートはイングリッシュコマンドでおこない、不正スタートは１回で失格（混成競技を除く）とする。
７　やりは、検査をうけて自己のものを使用すること。
検査場所・・・・・・　玄関ロビー
検査時間・・・・・・　男　　子　第１日　１３時００分　　女　　子　第２日　１３時００分
混成男女　第２日　１０時３０分
８　走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。
男子　走高跳　……1m55(練習) 60-65-70-75-80-83-86-89-92-95-98
棒高跳　――2m60(練習) 2m80- 3m00-10-20-30-40-50-60-70-80-90-4m00
八種走高跳……1m55(練習) 60-63-66-69-72-75-78-81-84-87-90
女子　走高跳　……1m20(練習) 25-30-35-40-45-50-53-56-59-62-65-68
七種走高跳　1m15(練習) 20-23-26-29-32-35-38-41-44-47-50-53
第１位が同成績の場合、順位決定の為のバーの上げ下げは、走高跳では２㎝とする。
走高跳でバーを破損した場合は、弁償すること。
９　高体連の申合せにより、役員の協力がない学校の選手は出場させない。
10　トラック競技で同記録の場合、準決勝・決勝への進出者は抽選により決定する。走高跳を除く種目の決勝で同順位（男子７位、女子６位）の場合も県大会出場資格は抽選により決定する。
11　本大会の成績によって、男子は各種目７位、棒高跳は３ｍ００以上、ハンマー投は４０ｍ００以上、女子は各種目６位、競歩・混成競技は上位２名が県大会への出場資格を得る。（リレーは自由参加とする）
なお＋α（男子８名、女子７名、混成競技７名）は５月１３日（火）の常任委員会で決定し、該当する学校に後日連絡する。
12　競技場の開門は、両日とも７時３０分に行う。
13　競技終了後の清掃は、大会両日とも各校２名本部前に集合すること。ゴミは各校責任を持って持ち帰ること。
14　整備用具係付きの補助員は、開門と同時に北器具庫前に集合すること。
15　競技場内でのウォーミングアップは両日とも８時４５分まで認める。
16　3000mSCは一日目に予選、二日目に決勝をおこなう。
17　トラック外側の第２コーナーから第３コーナーまでの地域は競技に支障のない範囲でウォーミングアップ場として使用してよい。（アナウンスにて指示あり　棒高跳競技中および投てき練習は禁止）